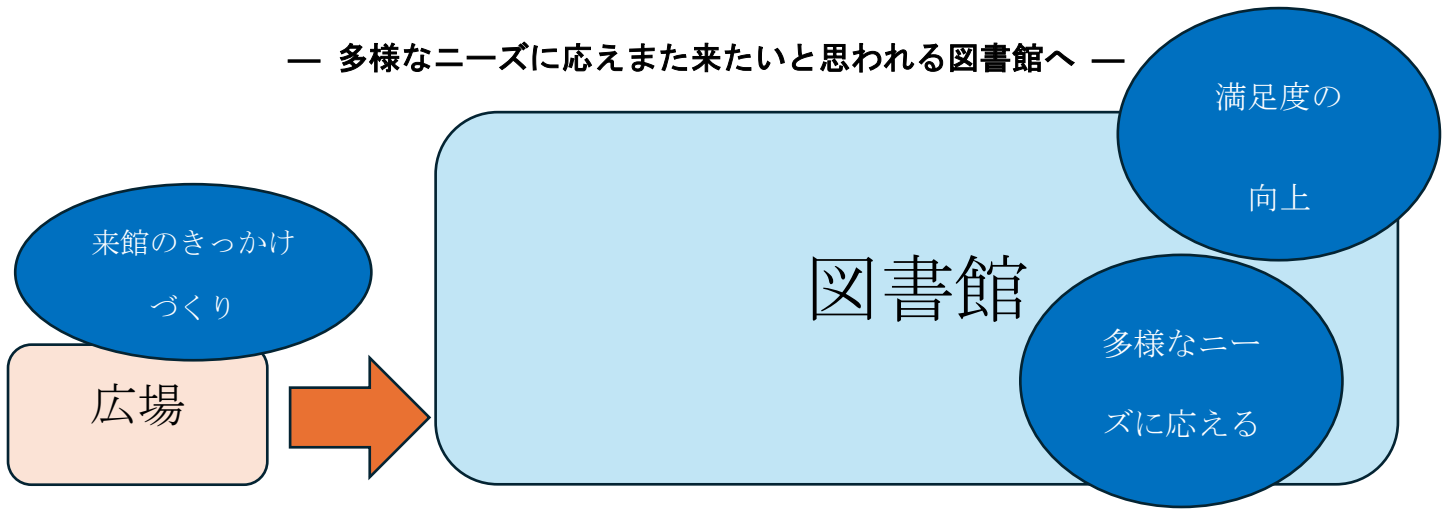


府中市立図書館指定管理公募にあたっての提案のポイントについて

新たに整備した広場の有効活用により「あたたかなにぎわい」が生まれる図書館

— 多様なニーズに応えまた来たいと思われる図書館へ —



図書館を目的に来館する利用者に加え、広場を訪れた人にも来館のきっかけをつくり、来館者に充実した学びと交流の場を提供することで、図書館を利用したことのない人にも魅力を知ってもらい、また来たいと思える図書館を実現する。

子どもから高齢者まで、誰もが気軽に立ち寄り、憩い、学び、交流できる、地域に開かれた「学びと交流の拠点」を目指す。

提案における3つの重点項目

01 「行ってみたい」を生む — にぎわいの創出

図書館本来の「学び・情報・交流」の機能を充実させるとともに、広場と連動したイベントや活動を展開し、図書館を利用したことのない人にも来館のきっかけをつくる。

多様な世代が日常的に集う「居場所」の創出

広場と図書館をつなぐイベント・企画の実施

図書館と広場の回遊・滞在の促進

02 「また来たい」を生む — 滞在の質の向上

静かに読書・学習できる場所と、人の活動や交流が生まれる場所を適切にゾーニングし、一人ひとりが自分らしく過ごせる環境をつくる。

静けさとにぎわいが共存する空間づくり

親子・学生・高齢者など多様なニーズへの対応

おはなし会、読書会、地域活動、多世代交流の場づくり

探求学習などグループで学習することができる環境づくり

03 「地域とのつながりを生む」 ― 地域貢献

学校図書館や公共施設、地域団体等との連携を深め、地域の人・情報・活動をつなぐ「地域のハブ」としての図書館を実現する。

学校図書館・公共施設との連携

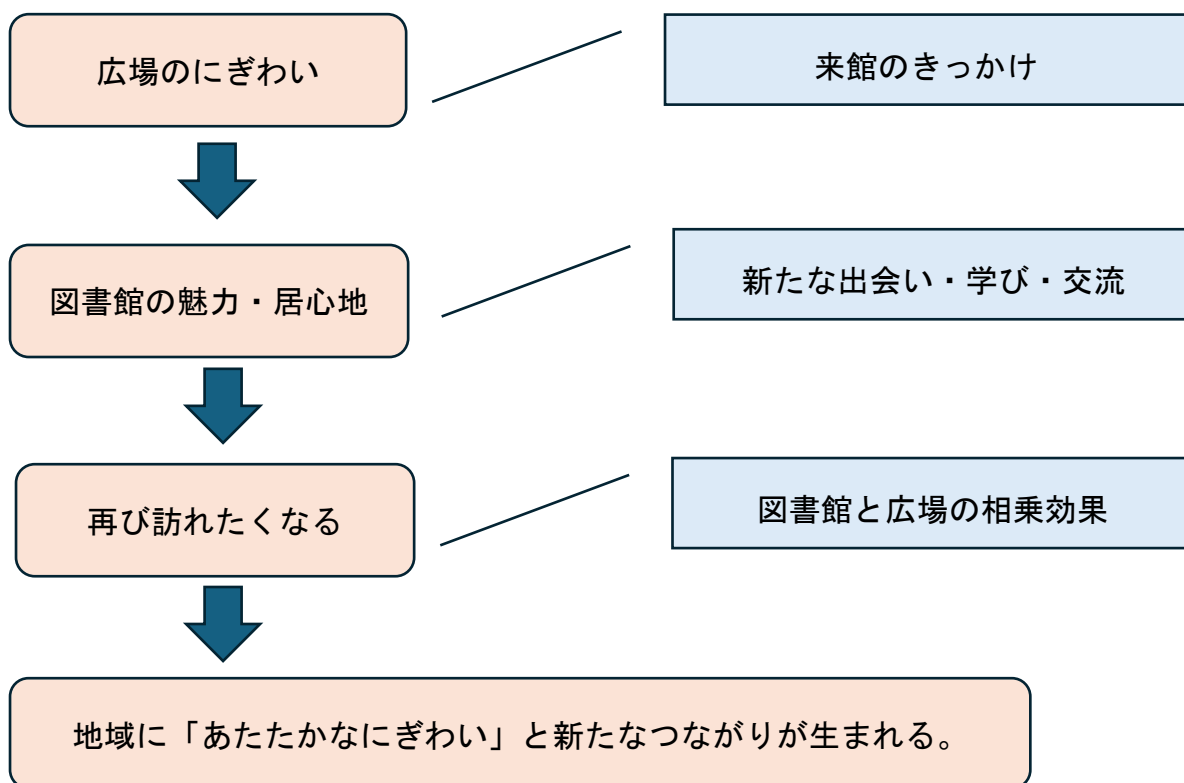
地域団体・市民との協働

「府中市の図書館だからこそできる」取組の創出

地域の課題やニーズに応える情報・学習支援

目指す姿

「人と学びが自然に集まる場所」へ



「よりみち」が、人と地域をつなぐ。

図書館と広場が一体となり、誰もが気軽に立ち寄り、過ごし、学び、交流できる、これからの府中市にふさわしい地域の学びの拠点をつくる。